

④

市民まつり事業

【たつせがある課】

資料

外部評価実施日：令和元年7月31日（水）

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

市民まつり事業

くらし文化部 たつせがある課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

1

1 事業概要（A票）

◆事業の名称

市民まつり事業

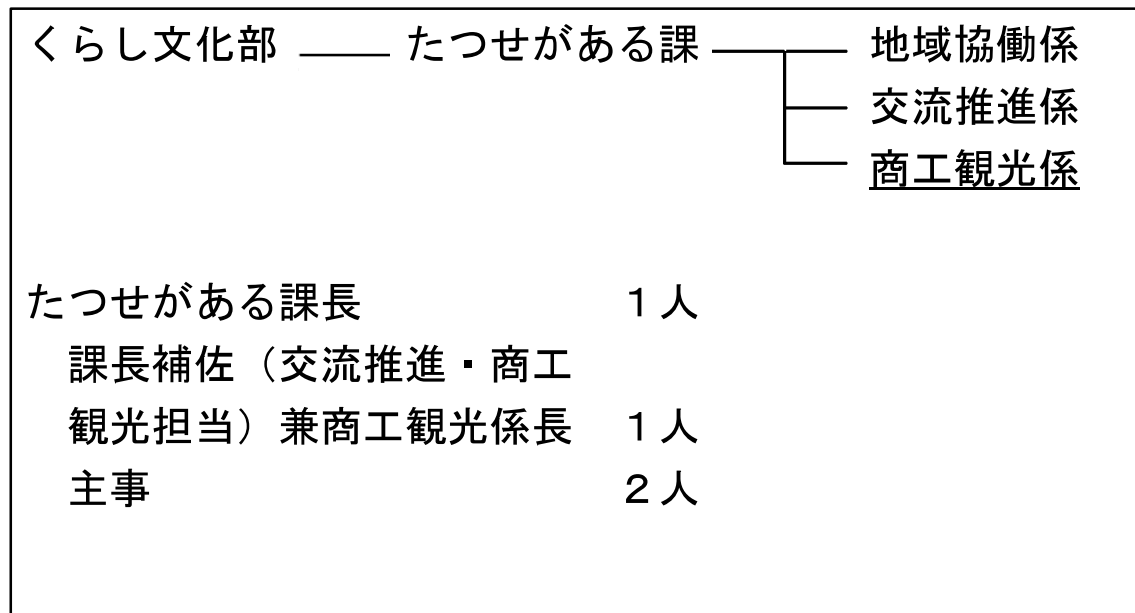
◆事業の開始の背景、経緯等

平成24年度から、市が主体で行っていた市民まつりを、市民が主体となり実行委員会を組織して企画や運営を行うこととなった。

2

2 事業の実施体制（A票）

◆組織体制、人員



3

3(1) 事業目的等（A票）

◆事業内容（どのような事業なのか）

行政主導で実施してきた市民まつりを、市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市民

4

3(2) 事業目的等 (A票)

◆事業意図 (対象をどのような状態にしたいか)

地域文化、産業の発展・向上を目指すため、市民相互のふれあいの場を創出する。

◆事業を構成する事務事業 (B票)

① 市民まつり事業

5

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】 (B票)

◆事業を構成する事務事業

市民まつり事業

◆目的 (対象・手段、意図)

地域文化や産業の発展・向上、市民相互のふれあいの場の創出のため、市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。

◆事務事業の活動状況

実行委員会を6月から10月の間で、全8回開催。

6

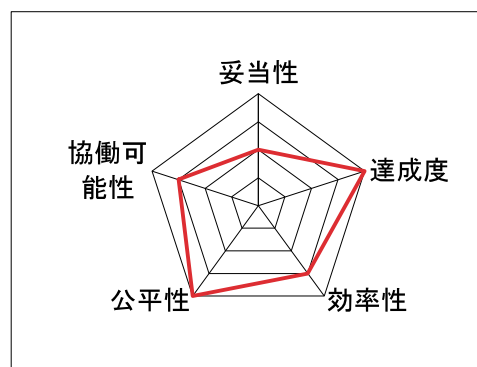
4 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】 (B票)

◆前年度からの改善状況

実行委員が担う事務を、昨年度より増加させた。

◆事務事業の評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	4
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



7

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】 (B票)

◆協働可能性について

・市民参加の延べ人数

区分	28年度	29年度	30年度	31年度
見込	20	20	20	20
実績	24	10	14	

・協働の状況

市民から実行委員を募集し、まつりの運営等を行った。

8

4 事務事業の評価・今後の方向性【事務事業①】 (B票)

◆活動エピソード

個別で行っていた健康展などの他事業と連携し、同時開催で事業を行った。

◆改善ポイント

市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、今後も補助金を交付し、実行委員会による開催を引き続き行う。今後は運営も主体的に行えるよう、実行委員会が担う事務を更に増やしていく。

◆今後の方向性

拡充

9

5 コスト (A票)

◆平成30年度事業費

3,297千円

◆平成30年度人件費

8,107千円

◆事業費の主な内訳

(1)	会場設営委託費	2,268	千円
(2)	警備委託費	432	千円
(3)	チラシ作成委託費	148	千円

10

6 事業の成果【成果指標①】 (A票)

◆事業の成果指標

市民まつり来場者数

◆事業の成果目標

24,000人

◆事業の成果実績

22,000人

◆成果指標、目標等の設定理由

実際に市民まつりに来場した人数を指標とする。
雨天の場合は来場者数が減るものの全体的に増加傾向にあるため、前年度より1千人の増加を見込んだ。

7 環境変化 (A票)

◆近隣市町の取組状況や事業を取り巻く環境変化

瀬戸市、尾張旭市、東郷町、日進市等、近隣市町村も同様のまつりを開催している。

8 事業の評価（A票）

◆事業の目標達成状況

前年度より来場者は減少したが、まつり自体の規模は同程度だった。

◆事務事業全体を見た課題

市民まつりへの来場者は増えているが、毎年同じ形式で行うだけでなく、新しい企画を検討する必要がある。

9 事業の今後（A票）

◆事業の今後の方向性

市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、毎年同じ形式で行うだけでなく新しい企画を検討しつつ、引き続き実行委員会により開催する。

◆事業の中長期の目標

現在は市が務めている事務局を4年後を目指し実行委員会が担うようにし、実行委員会が企画だけでなく運営も行う。

10 事業のまとめ

◆事業の課題など

現在は市が行っている事務をいずれは実行委員会が担うようにしていくため、運営方法の改善が必要である。

◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

実行委員会が市から独立していくための、運営方法の改善策について、助言をいただきたいと思います。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	026 -	事業名	市民まつり事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	-------	-----	---------	------	---------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計区分	一般会計	
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	予算区分(款 - 項 - 目)		
	第6次総合計画・基本目標	✓ 「やってみたい」でつながるまち	6-1-1 商工費		
	法定受託事務の有無	—			
	その他(関係計画、要綱等)	✓	ながくて市民まつり実行委員会規約		
事業開始の背景、経緯等		平成24年度から、市が主体で行っていた市民まつりを、市民が主体となり実行委員会を組織して企画や運営を行うこととなった。			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 行政主導で実施してきた市民まつりを、市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域文化、産業の発展・向上を目指すため、市民相互のふれあいの場を創出する。			
	事業を構成する事務事業(B票)	① 市民まつり事業	拡充	④	
		②		⑤	
		③		⑥	

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
		事業費(A)	千円	予算	2,854	3,100	3,100	3,300
			決算	2,801	2,978	3,090	3,297	
	人件費(B)	千円	決算	7,714	4,354	7,491	8,107	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	10,515	7,332	10,581	11,404	

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A	市民まつり来場者数	人	目標	18,000	19,000	22,000	24,000
			実績	18,000	21,000	23,000	22,000	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	実際に市民まつりに来場した人数を指標とする。雨天の場合は来場者数が減るものの全体的に増加傾向にあるため、前年度より1千人の増加を見込んだ。							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、東郷町、日進市等、近隣市町村も同様のまつりを開催している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 前年度より来場者は減少したが、まつり自体の規模は同程度だった。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 近年は天候に恵まれているため、来場者が年々増加している。健康展やリサイクルマーケットを同時開催しており、相互的な来場も増加している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民まつりへの来場者は増えているが、毎年同じ形式で行うだけでなく、新しい企画を検討する必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、毎年同じ形式で行うだけでなく新しい企画を検討しつつ、引き続き実行委員会により開催する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 現在は市が務めている事務局を3年後を目指し実行委員会が担うようにし、実行委員会が企画だけでなく運営も行う。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none">・実行委員会の自立を目指してください。・市民主体の事業とするよう、実行委員会の自立を目指すとともに、事業規模の見直しを検討し、経費の節減に努めてください。・市民まつり実行委員会の事務局機能や当日スタッフとしての役割について、業務であること(人件費が発生していること)を実行委員会メンバーと共に認識し、役割を再検討してください。・市民まつり実行委員会としての収入も検討してください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	市民まつり事業		担当部課	くらし文化部たつせがある課	決算書ページ	—
事務事業名	①	市民まつり事業	予算区分	6-1-1 商工費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域文化、産業の発展・向上を目指すため、市民相互のふれあいの場を創出する

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	2,854	3,100	3,100	3,300	3,300
		決算	2,801	2,978	3,090	3,297	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		市民まつり実行委員会補助金				3,297	千円
(2)							千円
(3)							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
実行委員会人数	人	見込	20	20	20	20	20
		実績	14	24	10	14	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
・市民まつり実行委員会に補助金を交付し、まつりの企画運営を行う。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

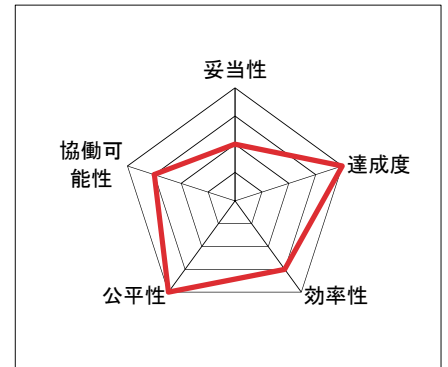
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成24年度から、実行委員会形式の市民まつりとなった。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
3,300 千円 3,300 千円 0 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】
市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、今後も補助金を交付し、実行委員会による開催を引き続き行う。今後はより主体的に行うため、実行委員会が担う事務を順次増やしていく。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
実行委員が担う事務を、昨年度より増加させた。

6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	4
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	20	20	20	20
実績	24	10	14	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市民から実行委員を募集し、まつりの運営等を行った。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
個別で行っていた健康展などの他事業と連携し、同時開催で事業を行った。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、今後も補助金を交付し、実行委員会による開催を引き続き行う。今後は運営も主体的に行えるよう、実行委員会が担う事務を更に増やしていく。

7. 今後の方向性

拡充
